



アユ情報 第6号

2018年5月2日
栃木県水産試験場

アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況



・茂木地区で、引き続き遡上を確認しました (5/1)。



調査場所 (テイテイ淵下流)



採捕された天然遡上アユ

<茂木地区での定期調査結果>

平成30年				平成29年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
				3月22日	13.0	1.5	93.3
3月30日	16.2	3.0	87.5	3月29日	13.5	1.5	97.3
4月3日	16.8	8.0	88.4	4月4日	15.0	9.6	86.0
4月10日	16.1	30.0	86.6	4月11日	12.0	41.0	93.7
4月17日	14.5	216.0	93.3	4月18日	15.7	59.0	80.1
4月24日	17.2	61.3	83.0	4月25日	20.3	15.0	95.9
5月1日	21.0	59.0	86.3	5月2日	20.1	50.0	96.6
				5月9日	20.2	27.1	100.0
				5月16日	22.0	74.7	89.5
				5月22日	26.1	26.5	84.6

*投網1人1時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況

- 茨城県内の久慈川では3/14に堅磐堰（河口から約8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

平成30年久慈川・那珂川アユ遡上速報第1号

- 多摩川のガス橋付近では、昨年の2.8倍の遡上が確認されています。

→3/20～4/30までの累計入網数：156,760尾（H29年同時期：56,886尾）

東京都島しょ農林総合研究センター 平成30年アユ遡上調査

- 荒川の秋ヶ瀬取水堰では、昨年の0.96倍の遡上が確認されています。

→4/6～4/26までの累計遡上数：76,184尾（H29年同時期：88,595尾）

利根導水総合事業所：平成30年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

- 利根川の利根大堰では、4/21から遡上調査が始まりました。

→4/21～4/26までの累計遡上数：673尾（H29年同時期：459尾）

利根導水総合事業所：平成30年度の利根大堰におけるアユの遡上状況

豆知識～放流サイズはどれくらい小型化できる？～

放流尾数を増加させるには小型種苗の放流が効果的です。では、どこまで小型化できるのでしょうか？

天然遡上アユのサイズ(平成30年)	平均サイズ		記録に残る県内での最小放流サイズは平均1.88gです。 1974年5月1日に箒川に放流され、7月10日に平均42gで釣られたそうです（ちなみに、この時代は4g以上の種苗は大型と言われていました）。さすがにこれは極端な例ですが、平均3gを超えていれば、放流して問題ないと考えられます。また、那珂川の天然遡上アユは、平均4～6gほどです。それでも、昨年や今年のように遡上
	日付	全長(mm)	
3月30日	87.5	4.4	上が早い年には6月1日の解禁日には50～60gの天然
4月3日	88.4	4.8	
4月10日	86.6	4.4	
4月17日	93.3	6.2	
4月24日	83.0	4.6	
5月1日	86.3	5.1	

遡上アユが釣られます。つまり、放流から解禁まで1か月半から2か月程度の期間を確保できるのであれば、平均3～6g程度のアユを放流すれば十分に成長すると考えられます。ただし、水温が低く、放流から解禁までの日数を確保できない漁場においては、ある程度大型の種苗を放流せざるを得ません。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>